

爽・創・荘

学校日より
令和5年12月5日
加古川市立両荘中学校

爽やかであること、創造すること、成長することを願って、「爽（そう）・創（そう）・荘（そう）」と名付けました

「子どもの権利」の尊重

昨日の12月4日から12月10日まで、「人権週間」です。最終日の12月10日は、世界レベルでは「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。これは、世界人権宣言がなされた日で、基本的人権尊重の原則を定め、当時、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものであったようです。

先月は、合理的配慮について記しましたが、今月は「子どもの権利」について記します。皆さんも聞いたことがあるかもしれませんが、常に子どもにとって最善の利益を第一に考え、国を中心に子どもに関する取組を進めていくために、令和5年4月1日に「こども基本法」が施行されています。これは、憲法と「児童の権利に関する条約」（←「子どもの権利条約」といいます）の考えを日本のルールとして定めたものです。

大切な理念を6つ記します。

- 1 全てのこどもについて、個人として尊重され、基本的に人権が保障される。**差別的な扱いを受けないようにする。**
- 2 全てのこどもが、適切に養育され、生活を保障されることなどの福祉に係る権利が等しく保障される。**教育を受ける権利が等しく与えられる。**
- 3 全てのこどもについて、**意見表明や社会的活動に参画する機会が確保される。**
- 4 全てのこどもについて、**意見の尊重、最善の利益が優先**して考慮される。
- 5 こどもの養育は家庭を基本として行われ、保護者が第一義的責任を有するとの認識の下、十分な養育の支援、家庭での養育が困難なこどもの養育環境を確保する。
- 6 家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる社会環境を整備する。

5と6はどちらかというと、皆さんを取り巻く大人が頑張らないといけないことですが、1から4は、直接、皆さんの権利にかかわることです。難しい言葉が多いと思いますが、太字だけでも頭に残ればよいと思います。

みなさんにとくに大切にしてほしいのが、3の「意見表明の権利」です。みなさんは、いやなことをされた時には、「やめて」といえていますか。「やめて」というのは権利なのです。友だちとの関係をこわさないように気をつかったり、我慢したりする必要など、本来はまったくないということです。気持ちを伝えることで、周りが考えるきっかけになることも多いはずですよ。お腹を空かせた赤ちゃんが泣くのも、いわば意見表明です。赤ちゃんの場合、周りの大人は、お腹がすいていても我慢しなさいとはならず、ミルクをあげることを最優先に考えるでしょう。意見表明があったからこそその対応です。そ

れと同じです。日本の若者は、自分の意見を表明することが苦手だといわれることがありますが、まずは、「いやなことはいや」といえるようになることが大切です。

さらに皆さんは中学生ですから、みなさんはみなさんの視点で意見をいうことも大切です。「互いに尊重」とよく言われますが、互いに考えや意見を言い合い、また耳を傾ける風土にこそ、「互いに尊重」する人権感覚が生まれる気がします。

トピック 両荘中学校 から 両荘みらい学園へ

閉校記念式典の日が決まりました。3月14日午前中です。76回生の卒業式の前の日にいきます。保護者の皆様へは、近くなりましたら、ご案内いたします。

11月のホームページ「両荘エトセトラ」より

観察はいつでも どこでも ～ 月と太陽の観察 ～ 11月1日

朝、理科の教員が、生徒玄関の前で、望遠鏡をセッティングしていました。秋の澄んだ空気、チャンス到来ということで月の観察です。

この日は8時でも、月は肉眼でもきれいに見えていましたが、望遠鏡で20倍にすれば、クレーターまで大変きれいに見えていました。望遠鏡はものが逆さに見えますが、今回は正立プリズムを使って、肉眼と同じ方向にみることができました。登校してすぐの天体観察で、



望遠鏡をのぞいたとたん、多くの生徒から「わ——きれい」「めっちゃすごい」など歓声があがっていました。

理科の時間だけでなく、日常から生徒たちはベストタイミングで観察しています。この日は、日中、太陽の黒点も観察。インターネットで黒点が観察しやすい情報をキャッチし、すぐに観察を設定したようです。黒点は肉眼では見えないだけに、感動もひとしおだったことでしょう。

2回目の両荘みらい学園説明会を行いました 11月29日



4校時に、市教育委員会の先生に来ていただき、1年・2年対象に両荘みらい学園に関する説明会を行いました。新しい学校の特徴として、「英語教育」と「ふるさとみらい科」を9か年で学んでいくこと、小学生と一緒に過ごす一日の時間のこと、チャイムがならない時刻もあること、小学生の部活動のかかわりについてなど、わかりやすく発信していただきました。最後には、あと4か月、どんな伝統をつないでいく

かをしっかり考えて過ごし、4月には笑顔で開校を迎えてほしいと熱いメッセージを伝えてくださいました。